

薬剤部の皆様へのメッセージ 2013.12.20

2013年は、薬剤師定員16人増、部員室新築、そして、薬剤部内の改装という大きな変化を実感できる1年でした。これらは、スタッフの皆さんの日々の業務が評価された結果です。ありがとうございました。

眼に見える“変化”は、わかりやすく、インパクトがあります。我々も、患者、そして、医療スタッフに、今、進めている“**薬剤業務の新しい形**”を実感してもらう必要があります。

やるべきことは、皆さんに示している「**入院から退院までの一連の薬剤業務**」です(添付の月刊薬事「吉本久子論文」を参照)。

「できない!!」と言うのではなく、「**どうすれば、できるか?**」という方向で、知恵を出し合い、工夫することが大切。2014年4月まで、あと100日。SMILEを忘れずに、一歩ずつ進んで行きましょう。



1. 薬剤師16人増員
(病棟薬剤業務: 12人, チーム医療: 2人, 男女参画: 2名)
2. 薬剤部改装(33,089,000円)

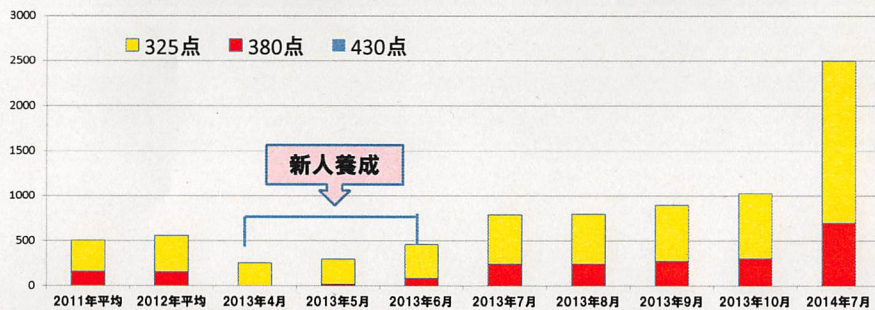
薬剤業務改革の昨日, 今日, そして, 明日

	業務展開	出来事
2010年10月	「いらないかもしれない調査」開始	
2011年4月	1-10西でモデル業務開始	
2012年4月		「病棟薬剤業務実施加算」新設 薬剤師1名増員(計37名)
2013年4月	・病棟薬剤業務実施準備開始 ・抗がん剤調製スキル研修開始	薬剤師16名増員(計53名)
5月		新部員室新築工事(5月31日完成)
7月		・薬剤部内改装工事 (DI室移転, 調剤部門壁撤去, 更衣スペース) ・クリーンベンチ移設
8月	病棟薬剤業務実施加算申請	
9月	・抗がん剤休日対応開始(8/31~)	
10月	・抗がん剤調製ローテーション開始	・2014年3月までに、薬剤管理指導業務は月1000件を実現し、病棟薬剤業務の充実を図る。
2014年4月	新人研修開始	
6月	新人・抗がん剤調製スキル研修開始	
7月	・1病棟3~4人体制(別紙参照) ・TDM研修開始(病棟担当者対象)	・新人薬剤師の宿日直開始 ・病棟薬剤業務実施加算申請開始

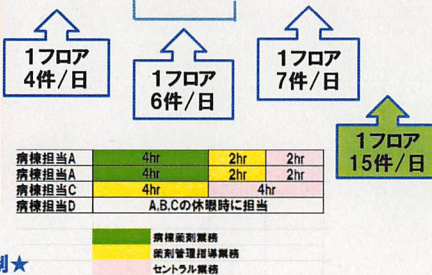
2014年の目標

- ①「病棟薬剤業務実施加算」請求開始
(2014年7月)
・標準業務手順書に従い、入院から退院までの連続した業務の実施
- ②薬剤管理指導業務の請求件数の増加
・目標は、2014年3月までに1,000件/月
2014年7月には2,000件/月
- ③大学病院の薬剤師にふさわしい
知識・スキル・科学的問題解決能力の充実
・専門領域の強化
・業務で発生した問題の科学的解決→学会発表

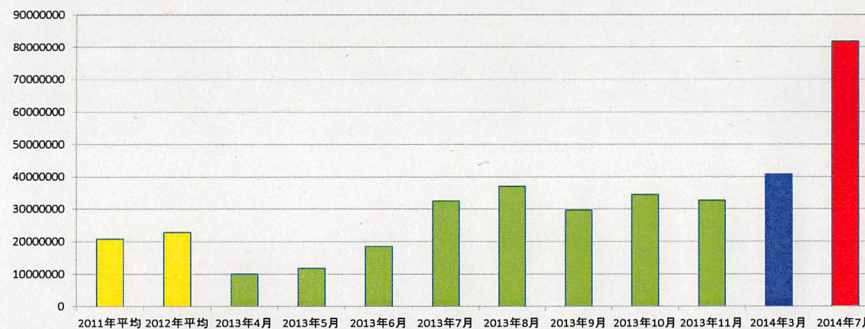
「薬剤管理指導請求件数」拡大計画



・「薬剤管理指導業務」については、業務に慣れることで、効率化を目指す。
 ・「請求件数」は、上図に示すように、2013年10月から2014年6月までは、最低1フロア7件/日を維持する(全体で1000件/月)。
 ・2014年7月からは、3~4体制になるので、1フロア15件/日を目指す。

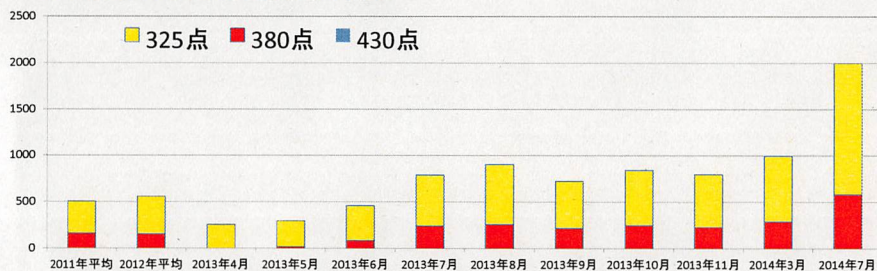


「薬剤管理指導請求金額」増加計画



	請求金額	年間推定金額
2011年4月～2012年3月平均	1,743,900円	20,926,800円
2012年4月～2013年3月平均 (1-10Wをモデル病棟として強化)	1,910,700円	22,928,400円
2013年7月	2,720,150円	32,641,800円
2014年7月(新配置体制実施)	8,510,000円	102,120,000円

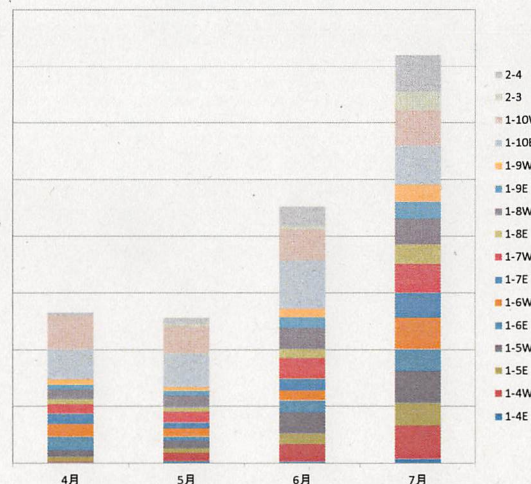
「薬剤管理指導料」請求件数



1月あたりの「薬剤管理指導料」請求金額



病棟薬剤業務時間の推移



2013年11月

病棟名	時間/週
1-3E	19:18:00
1-3W	19:08:00
手術部	15:33:00
1-4E	4:21:00
1-4W	28:46:00
1-5E	18:42:48
1-5W	19:05:00
1-8E	18:39:36
1-7W	18:39:36
1-6W	28:08:24
1-7E	24:13:36
1-7W	25:16:48
1-8E	18:13:24
1-8W	18:18:36
1-9E	23:08:36
1-9W	19:04:12
1-10E	26:35:00
1-10W	20:57:48
2-2&3	12:02:00
2-4&R1	25:08:00

全体的に増加傾向にありますが、一部の病棟で時間数が不足しています。その理由は？

2014年12月までに目指すこと

① 診療

- ・「病棟薬剤業務実施加算」請求開始 (2014年7月)
- ・「リスクマネジメント計画(RMP)」対応

② 教育

- ・薬学生の臨床実習の充実
- ・卒後研修体制の整備(認定・専門取得)

③ 研究

- ・Research Mind醸成(学会reporter制度)
- ・Clinical Question → Research 実行

医療チームへの参加

区分	名称	算定要件	担当薬剤師
感染	感染防止対策加算 ★入院初日400点		河口義隆
栄養	栄養サポートチーム加算 ★週1回200点	栄養管理に係る所定の研修を修了した専任の常勤薬剤師	矢賀和子
緩和ケア	外来緩和ケア管理料 ★300点(小児 150点)	麻薬投薬の悪性腫瘍患者に対する薬学的管理・指導などの緩和ケア経験を有する薬剤師	尾崎正和
移植	移植後患者指導管理料 臓器移植後患者指導管理料 ★月1回 300点	免疫抑制状態の患者の薬剤管理経験を有する薬剤師	吉本和代

- ・各医療チームのメンバーとして活躍できるよう、算定に必要な研修に参加すること
- ・「感染」と「移植」に関する医療チーム・メンバーは、TDM研修を行うこと

★新規準備開始業務★

- ・地域連携業務(術前中止薬管理, がん治療患者への指導など)
- ・医薬品リスクマネジメント計画(RMP)対応